

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	必修・選択
担当教員			
中尾 陣内 友廣 花城 吉田 戸田 澤田 座間味 小浦 藤野			

講義概要	<p>①教育・保育に対する使命感や情熱を持つ 子どもから学び共に成長する姿勢を身につける ②子どもの成長や安全・健康を第一に考え、適切に行動する ③保育者としての自覚に基づき、適切な行動をとる 組織の一員として協力して組織を遂行する 保護者や地域と良好な人間関係を築く ④子どもに対して受容的に接し、豊かな交流をおこなう 子どもの発達や心身の状況を理解し、適切な援助をおこなう 子どもと信頼関係を築き、活力ある学級経営をおこなう ⑤情報収集力を高めるために、タブレット等を活用し、保育・教育の基本的な知識と保育技能を身につける 保育の援助技術を身につける 子どもの育ちを確かめながら保育計画を立てる</p>
授業計画	<p>1 使命感や責任感に関する事項養護的・教育的愛情等に関する事項 オリエンテーション・実習の振り返り(自己評価)と保育のPDCAサイクル(中尾)</p> <p>2 使命感や責任感に関する事項養護的・教育的愛情等に関する事項 保育に対する使命感と自己の職責を果たす意思</p> <p>3 使命感や責任感に関する事項養護的・教育的愛情等に関する事項 実習の振り返りと保育者としての課題(グループ協議)(実習担当)</p> <p>4 使命感や責任感に関する事項養護的・教育的愛情等に関する事項 体験の共有(まとめ・発表)(実習担当)</p> <p>5 使命感や責任感に関する事項養護的・教育的愛情等に関する事項 保育者の持つべき養護的・教育的愛情とは(実習担当)</p> <p>6 使命感や責任感に関する事項養護的・教育的愛情等に関する事項 保育者として成長するための課題の認識と解決に向けて(実習担当)</p> <p>7 教科・保育内容等の指導力に関する事項 保育の中の表現造形の意義と指導法(陣内)</p> <p>8 教科・保育内容等の指導力に関する事項 保育の中の音楽表現の意義ととらえかた(友廣)</p> <p>9 教科・保育内容等の指導力に関する事項 保育の中の運動遊びの意義と捉え方(中尾)</p> <p>10 幼児理解や学級経営に関する事項 長時間保育と子どもの心身の発達の理解(戸田)</p> <p>11 幼児理解や学級経営に関する事項 子どもの権利と養護(川原)</p> <p>12 幼児理解や学級経営に関する事項 発達障害のある子どもの理解と援助(藤野)</p> <p>13 幼児理解や学級経営に関する事項 子どもの理解と学級経営(澤田)</p> <p>14 社会性や対人関係に関する事項 組織の一員としての自覚と職務遂行(川原)</p> <p>15 社会性や対人関係に関する事項 少子高齢化と世代間交流(花城)</p> <p>16 まとめ 学習の振り返り(全教員) 振り返りシートの作成と発表</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>保育者としての①使命感や責任感について学び、自己の保育者像を探る ②養護的・教育的愛情等について考察できるようになる ③社会性や対人関係能力について学ぶことにより、社会人としての意識を高める ④幼児理解や学級経営について学び、具体的な保育者像を描く ⑤教科・保育内容等の指導力について知り、保育者としての資質向上を目指す。</p> <p>毎回の授業レポート(課題シート)、授業への取り組み状況、課題研究の成果を統合して行う。 毎回の授業課題レポート(80%)、授業への取り組み状況(20%)</p>
教科書・参考書	各教員が用意する資料を使用。(学生はファイルにて保管し、ポートフォリオを作成)
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	各授業の担当者が授業の前後に教室で質問を受ける

